

施策	施策 1 民生委員・児童委員との連携強化
評価指標	欠員地区の解消
目標値	欠員地区を令和 7 年度までに解消する

工程表

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
目標						
	欠員地区の解消					
実績						
	欠員 12 名	欠員 13 名	欠員 20 名	欠員 16 名	欠員 15 名	欠員 16 名(改選後)

市の取り組み

	計画の記載	令和 7 年度の実施状況・計画期間の評価 第五次計画の実施事項
1 民生委員活動の周知	広報等で民生委員活動を紹介し、市民に理解を広げます。これにより、民生委員がさらに効果的に活動できるようになり、課題解決を行える地域の互助の強化を図ります。 特に地域の情報が不足している転入者に対しては、転入手続き時等の機会を捉え、活動内容や担当地区の民生委員などの必要な周知を行います。	【令和 7 年度の実施状況】 ・広報わこう 5 月号にて、「民生委員・児童委員の日、会長挨拶」を特集ページ掲載しました。 【計画期間の評価】 ・欠員地区の解消にはいたらなかったが、広報わこうや市民まつり・ゆめあい和光まつりにおいて活動の周知を行い、市民の皆様へ活動への理解促進につなげました。 【第五次計画の実施事項】 ・引き続き、広報わこうでの特集ページ掲載や、SNS 等を用いて支援が必要な方への民生委員の情報提供を幅広く続けていきます。

第四次和光市地域福祉計画和光市社会福祉協議会地域福祉活動計画 進捗管理表 方針 1 誰も取り残さない、支え合える地域を作る

	計画の記載	令和 7 年度 of 取組状況・計画期間 of 評価 第五次計画 of 取組事項
2 民生委員 の人材確保に 向けた働きか けの強化	自治会等の地域組織に推薦を依頼するほか、各種サポーターやボランティアなど、地域で活動している人に呼びかけを行い、欠員地区の解消を図ります。 また、民生委員の高齢化が進んでいるため、若い世代へ民生委員活動にかかわっていただくよう働きかけを行っていきます。	【令和 7 年度の取組状況】 ・広報わこう 5 月号にて、欠員地区解消に向けての呼びかけを行いました。 - また、昨年度に引き続き市民まつり・ゆめあい和光まつりに参加し、活動の周知を行いました。 【計画期間 of 評価】 ・任期満了や転居等のより、欠員地区の解消にはいいたらなかったが、各小学校区で設立された地区社協や民生委員・児童委員協議会と連携し、新たな人材の確保を進めました。 【第五次計画 of 取組事項】 ・引き続き、広報による周知に加え、既に地域で活動するボランティア等への働きかけを強化し、地域のネットワークを活用し、若い世代も含めた担い手の確保に取り組んでいきます。 - また、地域課題が複雑化・多様化される中で、制度も頻繁に改定されることから、最新情報の習得ができるよう、研修の実施を体系的にはかります。
3 関係機関 との連携	民生委員が、様々な関係機関と連携し地域の情報を共有することで、それぞれの強みを活かし、地域活動の活性化や課題解決が図られるようにします。 また、災害時に速やかな住民支援が図れるよう、支援の役割や情報提供方法などを調整します。	【令和 7 年度の取組状況】 ・関係機関からの情報提供を適宜行い、委員からの連絡を受けた際の連携を速やかに行い対応しました。避難行動要支援者名簿及び高齢者台帳を配布し、日々の見守り活動への活用、災害発生時に備えた情報提供を行いました。 【計画期間 of 評価】 ・関係機関との連携において、民生委員が円滑かつ安心し

第四次和光市地域福祉計画和光市社会福祉協議会地域福祉活動計画 進捗管理表 方針 1 誰も取り残さない、支え合える地域を作る

	計画の記載	令和 7 年度の取組状況・計画期間の評価 第五次計画の取組事項
		て活動できるよう、「地域住民の困りごとを速やかに専門機関につなぐ」ためのツールとして、「和光市民生委員児童委員活動の目安」を計画期間内に 2 度改訂しました。 【第五次計画の取組事項】 ・引き続き、民生委員と関係機関で、地域の状況等に関する情報を共有し、相互に連携をはかります。
4 課題を抱える世帯への支援における連携	地域における課題を抱える世帯への支援を行う際には、必要に応じ、民生委員もコミュニティケア会議や個別支援会議等に参加し、情報共有を図るとともに、市と連携し効果的な支援を行います。	【令和 7 年度の取組状況】 ・引き続き、民生委員が会議に参加するだけでなく、包括支援センターの職員に各地区の定例会に参加してもらうことで、情報共有を図れるようにしました。 【計画期間の評価】 ・民生委員の会議参加に加え、包括支援センターの職員が各地区の定例会に参加することで関係者間の情報共有を強化することができました。 【第五次計画の取組事項】 ・引き続き、上記の取組を実施するとともに、関係機関との連携を図りながら、課題を抱える世帯に対する効果的な支援を行います。

社協の取り組み

	計画の記載	今年度の取組状況・今後の取組予定
1 事務局機能を通じた各地区の連携支援	民生委員活動が円滑に行われるよう、協議会の事務局を継続します。その際、市と連携し、速やかな行政施策情報の提供等に努めます。また、事務局は 4 つの地区への情報伝達や調整など、4 地区が個々の活動と合同の	【令和 7 年度の取組状況】 ・各地区の定例会、役員会、高齢者部会、生活福祉部会、児童部会の部会研修会、県外研修に参加し、また助成金を交付し、協議会の支援を行いました。総会、合同定例

第四次和光市地域福祉計画和光市社会福祉協議会地域福祉活動計画 進捗管理表 方針 1 誰も取り残さない、支え合える地域を作る

	計画の記載	今年度の取組状況・今後の取組予定
	活動が連携して実施できるように、協議会の支援をします。	会、合同研修会を開催しました。 【計画期間の評価】 ・計画期間内には定期的な役員会や定例会を実施し、また研修会なども開催しました。 【第五次計画の取組事項】 ・民生委員活動が円滑に行われるよう、引き続き定例会等に参加し、必要な行政施策や地域情報を提供し、支援していきます。市と連携し、人員を確保に努め、欠員地区の解消を目指します。
2 民生委員への情報提供と関係機関や市、地域団体等との連絡調整	市内の地域団体や市、関係機関と調整を図り、地域の様々な情報（高齢者・子供・障害者）を共有することで、地域の互助を高めます。	【令和7年度の取組状況】 ・地域のサロンやフードパントリーの紹介、講演会など地域、民生委員活動の参考となるよう努めました。 また、包括支援センター等市内事業所との情報交換を行いました。 【計画期間の評価】 ・計画通りに進めることができました。 【第五次計画の取組事項】 ・引き続き地域の状況に合わせて関係機関と情報交換を行います。
3 民生委員活動の周知	あいさつ運動や乳幼児健診のお手伝い、お達者訪問など、有意義な活動について、周知が広がるようサポートしていきます。	【令和7年度の取組状況】 ・市民まつり・ゆめあい和光まつりに参加し、活動の周知を行いました。 【計画期間の評価】 ・計画通りに進めることができました。 【第五次計画の取組事項】 ・引き続き各小学校でのあいさつ運動や、学校行事、市内

第四次和光市地域福祉計画和光市社会福祉協議会地域福祉活動計画 進捗管理表 方針 1 誰も取り残さない、支え合える地域を作る

	計画の記載	今年度の取組状況・今後の取組予定
		のイベント等を通じ、周知活動を行います。

第四次和光市地域福祉計画和光市社会福祉協議会地域福祉活動計画 進捗管理表 方針 1 誰も取り残さない、支え合える地域を作る

施策	施策 2 地区社協活動の推進
評価指標	未設立地区社協設置数
目標値	計画期間内に広沢小学校区、白子小学校区、新倉小学校区地区社協設立

工程表

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
目標		1 力所設立 広沢小	1 力所設立 白子小	1 力所設立 新倉小	全地区設立済	全地区設立済
実績	地区社協設立に向けた調整を進めた	1 力所未設立 広沢小(次年度予定)	2 力所設立 白子小、広沢小	1 力所設立 新倉小	目標達成	目標達成

市の取り組み

	計画の記載	令和 7 年度 of 取組状況・計画期間 of 評価 第五次計画 of 取組事項
1 地区社協の事業支援	地区社協が継続して活動できるよう、事業について社協と連携するほか、財政面での支援を行います。 また、地区社協活動の実施にあたり必要な情報等の提供を行うほか、要望に応じ、市の施策に関する研修等を実施します。	【令和 7 年度 of 取組状況】 ・ 1 つの地区社協へ初期事業費の支援を行いました。 引き続き、社協と情報共有を図るための会議を 2 ヶ月に 1 度開催しました。また、社協にも協力をいただき、広報わこう 3 月号にて、「地区社会福祉協議会」を特集ページ掲載し、主な活動内容を紹介しました。 【計画期間 of 評価】 ・ 全ての小学校区で地区社協が設立され、地域住民、民生委員、自治会等と連携を図る体制づくりができました。 【第五次計画 of 取組事項】 ・ 引き続き、社協や地区社協等と連携を図り、地域の

第四次和光市地域福祉計画和光市社会福祉協議会地域福祉活動計画 進捗管理表 方針 1 誰も取り残さない、支え合える地域を作る

	計画の記載	令和 7 年度の実施状況・計画期間の評価 第五次計画の実施事項
		状況や課題等を共有します。また、市内公共施設の有効活用を支援することで、地域コミュニティの活性化を図ることができるよう努めます。
2 地域各団体 や行政との連 絡調整	地域の互助力を高めるため、地域の各団体との関係構築及び行政各部署との連携を図ることができるよう連絡調整を行います。	【令和 7 年度の実施状況】 ・関係部署の情報提供を各地区に行い、昨年度に引き続き希望する 4 つの地区社協へ避難行動要支援者名簿を配布しました。また、新たに中央エリア地域福祉推進協議会を設置し、住民の交流を通じて地域の連携を深める体制を整備することができました。 【計画期間の評価】 ・全ての小学校区で地区社協が設立されたことを受け、地域福祉コーディネーターと連携し、地域ごとの情報共有を通じて、地域各団体と行政各部署との円滑な連絡調整につなげました。 【第五次計画の実施事項】 ・引き続き、上記のような取組を行っていくと同時に、エリア毎の連携を目的に北エリア地域推進協議会の設置に向け、関係機関と協議を進めていきます。

社協の取り組み

	計画の記載	今年度の実施状況・今後の取組予定
1 地区社協の 活動支援	設立されている各地区社協においては、地区計画作成や活動の支援、助成金情報の提供などを引き続き行います。加えて、地区社協活動に必要な研修や講演会の開催や情報提供を通じて、自主的な活動がなされるよう支援	【令和 7 年度の実施状況】 ・ 9 つの地区社協に、地区社協活動助成金を交付しました。また、彩の国ボランティア体験プログラムの活動先として北原ふれあいの会地区社協、第四小校区地

第四次和光市地域福祉計画和光市社会福祉協議会地域福祉活動計画 進捗管理表 方針 1 誰も取り残さない、支え合える地域を作る

	計画の記載	今年度の取組状況・今後の取組予定
	します。 地域の目指すべき将来像に向けて、住民が関わるができる活動となるよう、地域の実情に応じたサロンや講演会の開催の支援をはじめ、福祉共育への参加を住民に促したり、活動を彩の国ボランティア体験プログラムの活動先として確保していくなど、新たな事業にも取り組みます。また、これまで以上に広く住民に参画してもらえるよう、地区社協活動の発信及び周知を行い、多様な活動となるよう支援していきます。	区社協、新倉小校区地区社協ではボランティアの受入を行いました。 ・広報わこうにも地区社協活動の掲載や地区社協が SNS を開設や地区社協が発行したチラシの配布など周知に力を入れました。 【計画期間の評価】 ・地区社協活動支援としての助成金や設立準備金の交付を行っています。また、各小学校区に地区社協が設立され、様々な取り組みを行うことで活動場所が広がり、地区社協の認知されるようになりました。 【第五次計画の取組事項】 ・地区社協活動が認知されるよう住民の皆様と活動を進めていきます。
2 地区社協間の連携推進支援	地区社協間においては、相互に発展した会となるよう、情報提供や意見交換の機会を調整するなどの支援をしていきます。	【今年度の取組状況】 ・令和 7 年 4 月に地区社協代表者会議を行いました。9 つの地区社協が参加し、各地区社協の活動について情報共有を行いました。 【計画期間の評価】 ・毎年代表者会議を開催しており、新たに設立された地区社協も参加しており、また、地区社協毎に取り組んでいる活動が違うので、有意義な情報交換の場となっています。 【第五次計画の取組事項】 ・エリアごとの情報交換会や交流の機会を提供します。

第四次和光市地域福祉計画和光市社会福祉協議会地域福祉活動計画 進捗管理表 方針 1 誰も取り残さない、支え合える地域を作る

	計画の記載	今年度の取組状況・今後の取組予定
3 地区社協未 設立地区への 地区社協立ち 上げ支援	未設立の地区社協については、地域活動に関心のある住民やボランティアや学生、そして自治会、民生委員、婦人会、高齢者クラブ、ボランティアなどの団体、その他企業及び福祉施設などの法人も含めた多様な地域資源に対し、地域活動にかかわっていただけるよう、地域福祉コーディネーターが働きかけや支援を行っていきます。	【今年度の取組状況】 ・全小学校区に地区社協が設立されました。

第四次和光市地域福祉計画和光市社会福祉協議会地域福祉活動計画 進捗管理表 方針 1 誰も取り残さない、支え合える地域を作る

施策	施策 3 地域防災における避難行動要支援者への支援
評価指標	① 避難行動要支援者の対象者のうち、同意の上申請のあった方の割合 ②避難行動要支援者の申請者のうち、支援者が 1 人以上いる方の割合
目標値	令和 7 年度までに毎年 5%以上の申請率の増加を目指します。 令和 7 年度までに毎年 2%以上の支援者確保率の増加を目指します。

工程表

		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
申請率	目標	 43%	 48%	 53%	 58%	 63%	 68%
	実績	 28%	 33%	 30%	 27%	 28%	 27%
支援者確保率	目標	 57%	 59%	 61%	 63%	 65%	 67%
	実績	 56%	 53%	 50%	 48%	 41%	 43%
未登録者への通知	目標	◇未登録者への通知			◇未登録者への通知		
	実績	通知済			通知済		
個別計画書配付	目標	★個別計画書配付			★個別計画書配付		
	実績	配布済			配布済		
事業者説明会	目標	◎事業者説明会			◎事業者説明会		
	実績	コロナで中止			実施		

第四次和光市地域福祉計画和光市社会福祉協議会地域福祉活動計画 進捗管理表 方針 1 誰も取り残さない、支え合える地域を作る
市の取り組み

	計画の記載	令和 7 年度の実施状況・計画期間の評価 第五次計画の実施事項
1 制度の積極的な周知・申請の案内	(1)市ホームページ・広報誌への掲載、市内公共施設への申請書類の設置など積極的な広報活動を行います。 (2)未登録の対象者に対し、制度案内の通知を送ります。また、市役所窓口での障害者手帳等の申請の際に、制度について案内します。さらに、特に支援を要する方については、戸別訪問等による案内を行います。 (3)市内の障害、介護事業所に対し定期的な事業者説明会を開催し、事業者から利用者への制度の周知を図ります。	【令和 7 年度の実施状況】 ・朝霞保健所より、指定難病患者及び小児慢性特定疾患のリストを受領し、そのうち未登録の対象者に対して制度案内の通知を送付しました。 ・市役所窓口にて、障害者手帳等の申請の際に、制度について継続して案内をしました。 【計画期間の評価】 ・市役所関係部署とも連携を図り手帳等申請者への制度案内等努めました。 【第五次計画の実施事項】 ・避難行動要支援者登録制度の条例化に伴い、登録を必要とする要支援者等がわかりやすい周知・案内をする。
2 情報の定期的な更新	個別計画書を 3 年毎に要支援者本人及びその支援者へ配付することで、定期的な計画内容の確認と情報の更新を行います。	【令和 7 年度の実施状況】 ・新規登録者については、個別計画作成等、作成した内容を要支援者及び支援者へ確認を実施した。 【計画期間の評価】 ・避難行動要支援名簿登録者全員の個別避難計画書を作成しました。 【第五次計画の実施事項】 ・令和 8 年度については要支援者に対し、制度案内の通知し、改めて確認し、情報の更新を行います。
3 名簿の有効活用	(1)災害時に、すみやかに避難所等へ名簿を提供し、安否確認や避難支援へ活用します。 (2)要支援者名簿の活用について社協や住民と	【令和 7 年度の実施状況】 ・災害時支援への備えとして、市関係部署、警察、消防、社協、包括支援センター、民生委員、自治会、地区社協へ名簿を配布

第四次和光市地域福祉計画和光市社会福祉協議会地域福祉活動計画 進捗管理表 方針 1 誰も取り残さない、支え合える地域を作る

	計画の記載	令和 7 年度の取組状況・計画期間の評価 第五次計画の取組事項
	ともに検討します。	しました。 【計画期間の評価】 ・新たに名簿受領いただけるよう地区社協への説明などを行った。 【第五次計画の取組事項】 ・条例化に伴い、避難支援等関係者の範囲を拡大したため、制度説明等実施することから協力体制を構築し、様々な視点で見守りができるよう努めます。

社協の取り組み

	計画の記載	今年度の取組状況・今後の取組予定
1 地域住民や要支援者が参加する防災訓練の実施	防災訓練を実施している地区社協や自治会、福祉施設等と連携し訓練を実施します。	【令和 7 年度の取組状況】 ・7 月、2 月に総合福祉会館にて防災訓練を実施しました。地域住民、チャレンジド、会館利用者の方とともに訓練を行いました。また社協運営施設において、防災訓練を地区社協と協力し実施しました。 【計画期間の評価】 ・計画通りに実施することができました。 【第五次計画の取組事項】 ・地域の防災訓練の実施状況を確認しながら、訓練の実施について検討していきます。
2 災害ボランティアセンターの周知及び立ち上げ・運営	災害ボランティアセンターについて周知を行います。また、地域住民を取り込んだ災害ボランティアセンター立ち上げ・運営訓練を実施します。	【令和 7 年度の取組状況】 ・令和 7 年度は災害ボランティアセンターについて、社協職員だけでなく、市民にも参加してもらい、災害ボランティアセンターの理解だけでなく周知につながりました。

第四次和光市地域福祉計画和光市社会福祉協議会地域福祉活動計画 進捗管理表 方針 1 誰も取り残さない、支え合える地域を作る

	計画の記載	今年度の取組状況・今後の取組予定
訓練の実施		【計画期間の評価】 ・災害ボランティアセンターだけでなく、福祉避難所の運営訓練を行うなど、取り組みを発展することができました。 【第五次計画の取組事項】 ・今までの実行委員会を災害ボランティア活動支援検討委員会として発展させていき、実践につながる訓練になるよう検討していきます。
3 住民同士による日常での声かけや見守り活動の促進	地域住民のつながりづくりを目的としたサロン活動や、見守り・声かけ活動に対する支援を行います。 地域住民の協力が得られるよう、周知・啓発を行います。 地域の気になるところ、目指すべき将来像に、地域住民が意識を向けられるよう福祉共育を推進します。	【令和7年度の取組状況】 ・1人暮らしの高齢者や見守りが必要な方へつながりを作る歳末つながり事業を行いました。 【計画期間の評価】 ・計画通りに実施することができました。 【第五次計画の取組事項】 ・地区社協や、ボランティアの参加を促し、地域が共に学ぶ福祉共育を実施し、地域のつながりを創っていきます。